

平成 30 年 10 月 20 日(土)～21 日(日)

参加者：岡本(L)、真鍋、右田(記)

10 月 20 日(土) 午前 7 時新大阪駅を出発。車山高原に 10 時過ぎに到着。生憎曇っていて寒い。車山の頂上はガスがかかっているのので、パス。八島湿原方面へ歩くことにする。ところが途中で雨が降り出してきて、雨具を着て歩くことに。のんびりの高原歩きつもりが、雨の中、速足で歩いたため、しんどい思いをすることになる。ようやく、駐車場に戻ってくると薄日が差して雨も上がった。白樺湖湖畔にあるおしゃれなコンビニで夕食の買い出しをしてキャンプ場へ向かう。今回も何組かのキャンパーがいて、あまり良い場所が確保できず、少し斜めな場所にテント設営。ビールとワインを頂き、就寝。



八島湿原方面へ下る



快適な道



すすき道

10 月 21 日(日) 6 時 50 分大河原ヒュッテ前を出発。双子山 7 時 17 分着。浅間山が望める。双子池ヒュッテ 8 時 3 分着。ここから大岳を經由して北横岳へ向かう。樹林帯の中を 10 分ほど登ったところで真鍋さんが 6 月に手術した足の調子が悪く、岡本リーダーと引き返す。私は岡本リーダーの勧めでそのままルートに登ることに。しばらく登っていくと岩が露出して歩きにくくなる。さらに登っていくとさらに岩が大きくなり、おまけに前日に降った雪が凍っていて滑るので非常に歩きにくい。難儀して登っていくとやっと大岳への分岐(9 時 36 分)に出る。二人を待たすことになるので、大岳はパスし、北横岳へ向かう。ようやく道はなだらかになったが、凍った岩で歩きにくい。気持ちはあせるが、思ったように早く歩けない。尾根の途中から八ヶ岳連山がきれいに見える。登りになってさほどかからず、北横岳頂上に 10 時 25 分到着。多くの登山客でにぎわっている。来た道を振り返ると悪路との注意標識が立っている。真鍋さんは早めに引き返して正解でした。快晴でゆっくりしたい気分だが、証拠写真を撮ってもらい、下山にかかる。亀甲池方面の道は、問題なく、速足で駆け降りる。亀甲池に 11 時 4 分着。ここから双子池(11 時 35 分)まで戻り、双子山(12 時 7 分)へ登り返し、大河原ヒュッテ(12 時 20 分)まで一気に戻る。

ヒュッテ前で待つ岡本さんに帰路のコース間違いを指摘される。もっと楽な別ルートがあるのをチェックする時間もなく、必死に歩いたあげくリーダーに怒られてしまった。

すぐに車に乗り込み、白樺湖から車山方面へ観光。前日の天気がイマイチだったのでリベンジ。多くの観光客に交じって、10 カ所ほど車を止めながら、写真撮影。最後に八島湿原に寄って帰路に着く。帰りの高速道路は名神が渋滞していたので、新名神経由でまあまあ順調に走り、20 時前に自宅に到着。岡本さん、今回も往復の運転ありがとうございました。



双子山から浅間山を望む



針葉樹の紅葉



双子池（雌池）



浅間山



八ヶ岳連峰



北横岳頂上



双子池（雌池）と紅葉



白樺湖と蓼科山



八島湿原